土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

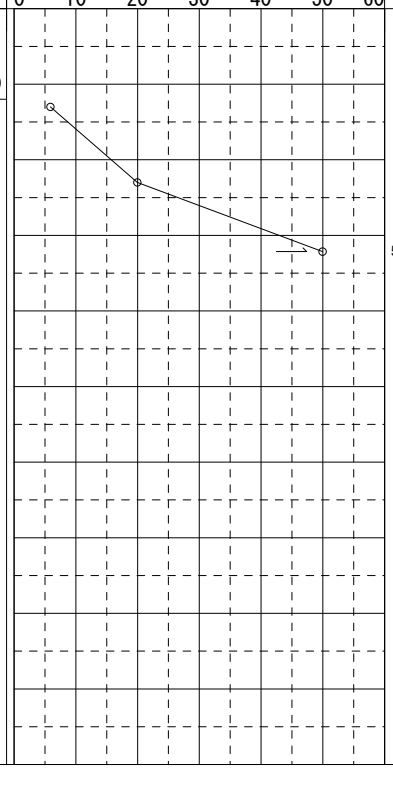
調査名	国道182号　設計業務委託（交通安全・下加茂工区）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	No.3	調査位置	福山市加茂町下加茂(X=-157324.140,Y=107944.503)			北緯	34° 34’ 34.1840″
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	令和2年11月10日～ 令和2年11月12日	東経	133° 20’ 35.4469″
調査業者名	明伸建設コンサルタント株式会社　福山営業 電　話　084-973-1360	主任技師	村上　慎治 地質調査技士登録番号：第10605号	現場代理人	末重　宜洋 地質調査技士登録番号：第16177号	コア鑑定者	末重　宜洋 地質調査技士登録番号：第16177号
ボーリング責任者	松長　毅 地質調査技士登録番号：第21078号						
孔口標高	TP 33.00m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機：東邦DO-D						
総削孔長	5.00m	エンジン	ヤンマーTF90M	ポンプ	東邦BG-3C		

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	31.10	1.90		砂質土		暗褐	緩い		盛土 砂は細～中砂主体とし，粗砂が混じる 径3cm以下の亜角礫を少量混入する GL-0.7m付近，コンクリート殻を混入する	11/11 1.20
2	30.50	2.50		礫混じり砂		褐灰	中ぐらい		河床堆積物 砂は中～粗砂主体 径1～3cm以下の亜角礫～亜円礫を20～30%混入する	
3	29.70	3.30		花崗岩		茶灰			花崗岩の強風化土 風化が著しく進行し，砂質土状～砂状コアで採取される 岩級区分：DM	
4	29.00	4.00		花崗岩		淡茶灰			花崗岩の風化土 風化が進行し，砂～細礫状コアで採取される 岩級区分：DH	
5	28.00	5.00		花崗岩		淡茶灰			見かけ上柱状コアで採取されるが，潜在亀裂が発達している 岩深部まで風化し軟質である 所々，硬質な部分を残す 岩級区分：CL級	
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	3	2	1	6/300		
	1.45		70	130			
20	2.15	6	9	5	20/300		
	2.45						
50以上	3.15	32	18		50/130	130	
	3.28		30				

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11 11